

# 道央家族会報 18号

ホームページ URL

<http://dokaren.com/do-o.html>



## \*ハロー家族会\*

北海道に緊急事態宣言が8月27日に発令されました。

当初の9月12日までの期限が、実際には9月30日まで延長されました。そして、晴れて宣言解除を受けて、徐々にではありますが、ウイズコロナ・アフターコロナの具体的な動きをお知らせいたします。

- 10/10 健康診断(第1班、第2班は11/30に実施します)
- 10/14 経専北海道保育専門学校施設見学(生徒32名、作業体験もありました)
- 10/25 避難訓練(地震後の火災発生を想定しました)
- 10/30 法人開設記念講演会(利用者には紅白ケーキが配られました)
- 12/6 インフルエンザ予防接種
- 12/25 年忘れ会
- 12/28 仕事納め
- 12/29 年末年始休業(~1/3)
- 1/4 仕事始め
- 1/8 新年会

令和4年の新年が、輝かしい幕開けになりますことを願っています。



**\* 施設・家族会懇談会&役員研修会開催\*** 恵庭光風家族会

新型コロナウイルスの蔓延により、昨年に引き続き家族会総会は書面での総会決議となりました。

5月に予定されていた今年度第1回の役員会ですが、緊急事態宣言が下され延期となり、7月9日にやっと役員会が開催されました。その後の役員会は予定通り、9月・11月と開催され、9月24日(金)には施設・家族会懇談会も開催されました。コロナ禍での開催という事で、今回は施設より望月常務理事ほか管理者7名、家族会からは三役(4名)が参加しました。



今年度の各事業所の事業計画(支援等)については、各管理者より下記の通り報告がありました。

- ※ 西事業所…6月に昼食のお弁当を注文し、パフェを作って食べました。9月におまつりで焼き鳥、おにぎり、3メートルほどの流しそうめん、かき氷など行いました。今後、ハロウィンパーティー、12月にクリスマス会を予定しています。
- ※ 牧場事業所…6月に昼食を海鮮丸からとり、おやつも食べました。改修工事が終わったので、これからハロウィンパーティーを盛大に行う予定です。12月はクリスマス会、3月にお疲れ様会を行う予定です。
- ※ 共同生活…日中は各事業所で行事の参加、9月に牧場にクレープのキッチンカーに来てもらい、利用者・職員・世話人・夜間支援員の全員で交流しながらクレープを食べました。お誕生日の人には希望を聞いてケンタッキーなどテイクアウトをしています。
- ※ 入 所…ジンギスカン、花火大会、かき氷、クレープのキッチンカー、各荘での行事を行っています。クリスマス会は利用者中心に施設内で行う予定です。
- ※ 就労B型…7月にバーベキュー大会、すとリーむ内であきまつりの縁日、軽食とミニゲームを行いました。今後クリスマス会の予定。  
そだてらすはテイクアウトのお弁当でお疲れ様会、クリスマス会の予定。
- ※ とらい… 日中のイベント、米寿のお祝い、あきまつりの縁日、感染対策を行いながらウポポイに行ってきました。12月にクリスマス会を予定。

その他、施設側への要望としてホームページの更新、コロナワクチン3回目の集団接種、事業所間の情報の共有についてお願いしました。

余談ですが、親が感染して利用者が陰性で隔離が必要な場合、本棟で引き受けられない場合にトレーラーハウスやキャンピングカーがあれば敷地内で24時間隔離ができます。何

もない時には余暇活動で使用することもできます。というお話が・・・夢は膨らみましたが、実現はどうでしょうか・・・？



また、11月12日(金)役員会終了後に法人企画室長の牛島さんに講師をお願いして、日頃開催している職員研修会を役員全員でお聞きしました。内容は「光風会のなりたち」と「行動と学習～障がいとはなにか～支援現場での実践」でした。」

スライドを使ってとてもわかりやすく、滝止士さんの生前香典のお話や、障がいに対する理解やかかわり方など勉強になりました。

来年度コロナが落ち着いたら、今度は家族会研修会を開催し、是非もう一度会員の皆さんと一緒に話をお聞きしたいと思います。



### \* 看取りの取組 \*

北ひろしま福社会 共栄緑の郷

新型コロナウイルス感染防止のため、昨年に引き続き、今年も共栄緑の郷の総会は、参集して開催することができませんでしたので、書面総会となり、役員改選もままありませんでした。

北ひろしま福社会のすぐ近くでボールパークが建設中で、道路の往来も不自由です。

利用者が退屈することのないよう、健康に留意しながら、しっかりとサポートしてくれている職員の皆様に感謝です。

毎年のように行っているグリーンフェスティバルは、今年は家族の参加なしで、利用者を中心に事業所ごとに開催されました。食事のメニューも豊富で、ラーメン、カレー、焼き鳥、ジンギスカン、焼きそば、から揚げ、ポテト、ピザ、クレープなど、好評だったそうです。

10月15日(金) 2年ぶりに役員会を参集して開催しました。北ひろしま福社会は、今年から看取りを本格的にスタートさせたことの報告がありました。道家連の今年度の重要課題と合致しました。

そんな訳ありで、12月3日(金)に道家連主催「看取りについて」の勉強会が札幌市教育文化会館4F講堂で開催されることになりました。レクチャーは北ひろしま福祉会 看取り援助推進室 室長の小林悦子氏です。令和3年10月29日発行の北ひろしま福祉会施設広報誌「蝦夷援護咲く vol.65」に、看取り援助推進室について掲載がありましたので、抜粋させていただきます。

#### 看取り援助推進室

北ひろしま福祉会は、令和元年10月に設立70周年を迎え、これまでの事業活動を振り返りつつ、法人理念である“わたしたちは すべての人の幸福(しあわせ)のために地域福祉を推進する役割を担います”の実現に向けて培ってきたノウハウを地域に発揮する事を強く決意し歩みを進めています。

そして令和3年度、新たな部署が誕生しました。その名も“看取り援助推進室”です!

室長に一般社団法人 生活を支える看護師の会の会長 小林悦子氏を迎え、法人内に“看取り援助推進委員会”を設置し「看取り援助ができる法人になる」の実現を目指してまいります。

これは、法人として、今まで主に障がい福祉事業・介護保険事業・地域活動事業を運営し、中でも障がい福祉事業では長きに亘って事業を進めてまいりました。その障がい福祉事業をご利用いただいている利用者の皆様に対し、生涯に亘って支援しつづけることへの誓い“すべての人の生きるをささえます”をスローガンとして、一人ひとりの想いの実現を最期の時まで支援する実践と仕組みづくりを推進するためであります。

8年目を迎えた介護保険事業を通して多くの“いのち”から学ばせていただいた“看取り援助”の実践を活かし、取り組んでいきます。今後の活動にご期待ください。

#### \*\* 編集後記 \*\*

新型コロナウイルス感染拡大が、やっと下火になってきたかと思っていた矢先、今度はオミクロン株が話題になっています。未然に防ぎたいものですね。日本では、どんな対策が講じられますことやら。

来年こそは良い年になるように願っております。

